

# ● 様似町のあゆみ

年号 西暦 様似町のできごと

寛永12	1635	運別（西様似）の東金山で金採掘を行い、その河川に繁華な部落が形成された。
寛政10	1798	幕府の使番近藤重蔵・大河内善兵衛が、東蝦夷地調査のため様似に駐留。
11	99	エンルムに会所を設ける。様似山道完成。
享和 2	1802	様似が蝦夷奉行の管下となる。（この年を様似の開基とした）
文化 3	06	幕府がオコタヌシ（栄町）に蝦夷三官寺のひとつとして、等澍院建立。
8	11	等澍院護摩堂7月に竣工。（昭和40年様似町重要文化財に指定）
万延元	59	昆布礁の人工造成が行われる。
明治 2	69	様似が鹿児島藩の支配下となる。
5	72	浦河に市庁を置く。管轄は日高国と十勝国、幌泉・静内・沙流に出張所を置く。
13	80	様似郡各村戸長役場を開設。芹沢光憲初代戸長となる。
18	85	定着農業始まる。等澍院廃寺となる。
21	88	公立様似簡易小学校開校。
22	89	石川県の移民、海辺（西様似）に入植する。
39	1906	2級町村制が施行され、様似郡は1郡1村となる。小荒井澄初代村長となる。
45	12	本町市街85戸焼失。松本製材所構内に自家発電の電灯がつく。
大正 7	18	村の紋章制定。
10	21	アポイ岳の高山植物が国の天然記念物に指定される。
14	25	浦河からの送電線が完成し、278戸に電気が点灯。
昭和 7	32	様似船入の第1期工事が着工、昭和9年に完成。
10	35	幌満川第1発電所が完成。
12	37	日高本線が様似駅まで開通。
13	38	様似船入潤の第2期工事が着工、昭和15年に完成。
15	40	幌満川第2発電所日高工場が竣工。翌年、北海道電気興業株式会社日高工場が操業。
18	43	幌満ゴヨウマツ自生地が、国指定特別天然記念物となる。国営自動車営業所開設。
20	45	様似市街が大火で57戸焼失。アメリカ軍の空襲を潜水艦による艦砲射撃をうける。
21	46	5月1日普通村に昇格。初めて、村の助役及び議長を置く。
22	47	新法による村長、村議会議員の選挙が執行され、公選により留目四郎当選。様似中学校開校。
23	48	冬島簡易漁港着工。様似村公報第1号発刊。
24	49	様似市街が大火で88戸焼失。様似漁港第1期修築工事着工。浦河高校様似分校設置。
25	50	平宇以東がエリモ道立自然公園に指定される。
26	51	上水道工事着工。様似村政だより発刊。
27	52	4月1日町制施行により様似村が様似町に改称し、初代町長に留目四郎。十勝沖大震災で、1億900万円の損害を受ける。教育委員会発足。アポイ岳高山植物群落が、国指定特別天然記念物となる。幌満川第3発電所着工、29年に竣工。第1回町民運動会開催。
28	53	義宮殿下御来町、アポイ山荘に宿泊。上水道工事完成。
30	55	猛吹雪襲来、漁船18隻に被害。様似町公民館が開館。冬島漁港完成。
31	56	第1次様似町総合振興計画発足。三上重蔵氏を名誉町民（第1号）に推たい。
33	58	台風22号が襲来、災害救助法発動。学校法人・様似幼稚園開園。
34	59	様似大橋（永久橋）完成。
35	60	様似漁港に東邦オリビン株式会社埠頭が完成し、翌年1月から荷役。
36	61	町の区域を新たに設置、同地区内の地番を改正。広報「さまに」発刊。
37	62	台風9・10号で大洪水。様似町史発刊。
38	63	初のかんがいダムが様似川に完成。昭和36年に町立でスタートした全日制普通課程の高等学校が、道立に移管。佐藤八三郎氏を名誉町民（第2号）に推たい。
39	64	様似町最初の生活館が西町地区に完成。平宇町有牧野が公共牧野として全道一になる。第2次様似町総合振興計画発足。
40	65	1月9日強風波浪災害が発生し、5億3,000万円の損害を受ける。
41	66	日高で最初の本格的郷土館完成。新富中学校が閉校し、様似中学校に統合。鶴苦漁港着工。様似幼稚園が学校法人様似学園として認可。
42	67	町立大通保育所が完成し、4月から幼児60人を保育。1月にNHK、9月にはSTV、HBCテレビの中継局がエンルム岬に開局。町長選挙執行、高瀬正次当選。
43	68	十勝沖地震発生、人家に被害甚大。留目四郎氏を名誉町民（第3号）に推たい。塩釜トンネル完成。
44	69	統合様似小学校着工。様似川上流で、洪水調整ダム工事着工。第3次様似町総合振興計画発足。新富小学校廃校。
45	70	西様似、岡田、冬島小学校廃校。5校を統合した様似小学校が完成。

